

NMAO 国際シンポジウム： 現代美術をコレクションするとは？

NMAO International Symposium: Collecting, Exhibiting and Preserving Contemporary Art

国立国際美術館では、美術館コレクションにおける近・現代美術作品の受入・展示・保存・修復をテーマとした国際シンポジウムを開催いたします。

日本国内に5館ある国立美術館の中でも、国立国際美術館は主として現代美術を中心とした作品を収集、保管、展示し、また関連する調査研究及び事業を行うことを目的に設立されました。日本美術の発展と世界の美術との関連を明らかにするために、約7,000点余り(H.22年度現在)の作品や、その他資料を所蔵しています。

展覧会の開催とともに美術館の重要な活動の一つである作品収集ですが、収蔵された作品群を将来に亘っていかに保存するかということは私たちにとっては大きな課題でもあります。日本国内では、修復専門家が勤務している美術館は極めて稀であり、またそのほとんどが絵画や彫刻、紙作品など伝統的なジャンルを専門領域としています。現代美術の領域では、これらの伝統的なジャンルに加えて写真、映像、パフォーマンスや複雑なインスタレーション等、年々アーティストによる表現様式は多岐に富むようになっていきます。それに伴い、美術館で収集される作品の技法、素材も多様なものになっていきますが、我が国では新しい技法、素材であればあるほど作品の受入方法、保存、修復は確立されておらず、各館の学芸員が館外の専門家から協力を得たり、あるいは手探りの中で業務にあたっているのが実情です。

本シンポジウムでは、日本国内の美術館で学芸員、修復家として勤務する方々をお招きし、各館における実施例や問題を報告。また70,000点を超える英国美術や近現代美術を所蔵することで知られる英国テートの保存部門からパトリシア・スミッセン（テート・保存部門主席プログラム担当）、デボラ・ポッター（テート・保存部門主席コレクション担当）の両氏をお招きし、テートのケース・スタディを報告していただきます。

各館からの報告によって日本国内の実情を共有し、将来的には関係者のネットワーク作りも目指します。また問題の解決方法また今後の活動方針を、豊富な経験を持つ欧米の機関の一つであるテートの先例から探ります。我が国の実状にあった方法、スタイルに変換して取り入れていくことは必要ですが、今回のシンポジウムの討議が日常業務の中で抱える問題を解決する糸口となることでしょう。

美術館という専門的機関でのテーマ設定となっていますが、アーティストにとっては自らが制作する作品の将来的な保存方法や自らの手を離れた作品がいかに展示されるべきかなどを考える機会にもなるでしょう。また一般聴衆の方々も鑑賞者として、あるいはコレクターとしての立場から今回のテーマを考えていただければと思います。

[シンポジウム概要]

日時： 2014年3月1日（土）

10:00-16:30

会場： 国立国際美術館地下1階講堂

* 参加無料。定員90名（先着順）。

* 日英同時通訳有り。

主催： 国立国際美術館

協力： ブリティッシュ・カウンシル

協賛： （公財）ダイキン工業現代美術振興財団

後援： 全国美術館会議

2014年3月1日(土) スケジュール

NMAO 国際シンポジウム： 現代美術をコレクションするとは？

10:00 - 開場

10:10 - 開会挨拶

10:15 - 10:45 山梨俊夫 (国立国際美術館館長)
「国立修復センター構想について (仮)」

日本の美術館のケース・スタディから

10:45 - 11:15 植松由佳 (国立国際美術館主任研究員)

11:15 - 11:45 加藤弘子 (東京都現代美術館企画係長 学芸員)

11:45 - 12:15 丹羽晴美 (東京都写真美術館事業企画係長 学芸員)

12:15 - 12:45 相澤邦彦 (兵庫県立美術館保存・修復グループ学芸員)

12:45 - 13:45 昼食

13:45 - 14:30

英国テートのコレクションのケース・スタディから

パトリシア・スミッセン (テート・保存プログラム担当主席)

Patricia Smithen, Head of Conservation for the Programme, Tate

デボラ・ポッター (テート・コレクション保存主席、コレクション部門ディレクター代理)

Deborah Potter, Head of Conservation for the Collection, the acting Director of Collections,
Tate

14:30 - 14:45 休憩

14:45 - 16:15 パネルディスカッション「現代美術をコレクションするとは？」

パネラー： 5名のスピーカー

進行：植松由佳

おわりに